

花園大学サテライトZEN講座

—ZEN それは ころのこと—

2024年1月27日（土）

柳幹康氏 東京大学東洋文化研究所准教授

「禅僧の言葉に見る仏の心」

横田南嶺老師 円覚寺派管長

「公案禅の功過」

2024年2月17日（土）

飯島孝良氏 花園大学国際禅学研究所副所長

「一休の像でたどる日本禅文化史序説

—その文学と美術を読む」

秦美香子氏 花園大学教授

「ムーミン一家は「家族」なのか？

—多様なものたちの共生に注目する」

2024年3月16日（土）

小川隆氏 駒澤大学教授

「柏樹子の歴史—禅の問答を読む」

佐々木閑氏 花園大学特別教授

「未来社会における仏教の役割」

「禅とは心の名なり」といわれます。その心とは、多様化する昨今の価値観に左右されることのない不動心のことです。この不動心とは、微動だにしない心ではなく、どこにも留まらない「決めつけ」のない柔軟な心を指します。この不動心が、仏法の大安心へと誘います。本講座では、仏法での大安心を大勢の方々に気づいていただくために、大学や寺院という場所を離れて、禅を発信します。

開場時間 13:00～

前半 13:40～15:00

後半 15:10～16:30

（全日共通）

➤会場：日経本社ビル2階スペースニオ

東京都千代田区大手町1-3-7

➤受講料：1回（2講座）3,000円

➤お申し込みはこちらのQRコードから



花園大学 サテライトZEN講座

-ZEN それはこころのこと-

1/27(土)



柳 幹康

「禅僧の言葉に見る仏の心」

1981年栃木県生まれ。東京大学大学院修了、博士(文学)。現在、東京大学東洋文化研究所准教授・花園大学国際禅学研究所副所長。専門は中国仏教・禅宗思想史。著書に『永明延寿と『宗鏡録』の研究：一心による中国仏教の再編』(中村元東方学術奨励賞)、論文に「白隠慧鶴と菩提心の判」(日本印度学仏教学会賞)他。



横田 南嶺

「公案禅の功過」

1964年和歌山県生まれ。白山道場龍雲院 小池心叟老師について出家得度。1987年に筑波大学卒業の後、建仁寺僧堂・円覚寺僧堂にて修行。2010年に臨済宗円覚寺派管長に就任。2017年に花園大学総長に就任。近著に『臨済録に学ぶ』他。

2/17(土)



飯島 孝良

「一休の像でたどる日本禅文化史序説—その文学と美術を読む」

1984年東京都生まれ。東京大学大学院修了、博士(文学)。現在、花園大学国際禅学研究所副所長・親鸞仏教センター嘱託研究員。専門は禅文化史・日本宗教思想史。著書に『語られ続ける一休像：戦後思想史からみる禅文化の諸相』(日本宗教学会賞)、論文に「室町期における「禅文化」はどうみられてきたか」他。



秦 美香子

「ムーミン一家は「家族」なのか？—多様なものたちの共生に注目する」

1978年広島県生まれ。神戸大学大学院修了、博士(学術)。現在、花園大学文学部教授。専門はマンガ研究・文化の社会学。著書に『ポピュラーカルチャーからはじめるフィールドワーク』(共著)他。

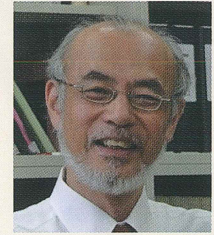
3/16(土)



小川 隆

「柏樹子の歴史—禅の問答を読む」

1961年岡山県生まれ。駒澤大学大学院修了、博士(文学)。現在、駒澤大学教授・駒澤大学禅研究所所長・花園大学国際禅学研究所客員研究所員(顧問)。専攻は中国禅宗史。著書に『語録の思想史：中国禅の研究』『禅思想史講義』『中国禅宗史』『禅僧たちの生涯：唐代の禅』他。



佐々木 閑

「未来社会における仏教の役割」

1956年福井県生まれ。京都大学大学院満期退学、文学博士。現在、花園大学文学部特別教授。専門はインド仏教学・仏教哲学・仏教僧団史。日本印度学仏教学会賞、鈴木学術財団特別賞受賞。著書に『出家とはなにか』『インド仏教変移論』『科学するブッダ』『大乘仏教』他。

※申し込みページ(COUBIC)へは、QRよりアクセスできます。
↳ スマホ・タブレットなどで読み取ってご利用ください。



※受講料：3,000円(1日2講座)

※定員：80名(1日)

※定員に達し次第応募を締め切らせて頂きます。

※会場：日経本社ビル2階 スペースニオ
(東京都千代田区大手町1-3-7)

アクセス：大手町駅から徒歩約5分
竹橋駅から徒歩約5分

